

くめなんギカイ No.93

令和8年3月議会

News from Kumenan Town Council



3月定例会 一般質問
議会構成決まる

P2-9
P10



議会HPは
こちらから

一 般 質 問

P3 立石 祐一

- ★1. 新小学校開校後の、町内3小学校の維持管理等について

P4 南 直樹

- ★1. 久米南町役場における人材育成と、魅力ある職場づくりについて

P5 政廣 幹夫

1. 下二ヶ黒橋跨線橋の補修工事着手はいつを見込むか
- ★2. 町は社協訪問介護廃止後の事業と介護人材をどうするのか
3. 会計年度任用職員の毎年度公募試験と正式採用の基準を問う
4. 転倒重傷者がでた庁舎駐車場の危険箇所へ直ちに対策を
5. 片山町長は福渡病院経営に資する交通便の充実など積極的に動け
6. 小学校給食無償化開始の今こそ町外通学等の児童生徒も無償化を
7. A I 活用のための準備はどこまで進んでいるのか

P6 河原 重義

- ★1. 緊急災害時における本町の対策及び計画について
- ★2. 小中学校におけるICT教育機材の今後の更新及び故障時の対応について
- ★3. 小学校統合後の利活用のうち各小学校運動場にある遊具の今後について

P7 近藤 賢司

- ★1. 小学校統合建設計画について
- 2. 小学校統廃合後の跡地活用について
- 3. 地域おこし協力隊の活動について
- ★4. 農業支援について
- 5. H P ・行政手続きのA I 活用について
- 6. 美しい森の管理と活用について
- 7. 町道の管理について
- 8. 予算編成と執行について
- 9. 町内防犯について

P8 小坂 守

- ★1. 町第6次振興計画について
- 2. 小学校跡地について
- ★3. 人口減少について

P9 光元 一郎

- ★1. 職員について
- ★2. 消防について
- ★3. 運動公園について
- ★4. 公共工事について

※議会だよりに掲載している質問を★で表記しています。

※質問内容及び答弁は議員自らが作成、議員の責任で掲載しています。

町政を問う

廃校施設の管理と活用の 方向性を問う



立石 祐一 議員

3小学校の活用推進に向けた官民連携モデリング事業の活用を

問 新小学校開校後の、町内3小学校の維持管理等について。廃校後の年間にかかる維持管理費の内訳と合計額について試算されているのか。

答

教育課長

現時点では新小学校の開校前であり、今後の活用

や管理方法は定まっていないことから、具体的な維持管理費をお示しできる段階には至っていない。

問

本町の方針として、去年、町長より官民連携によるPPP、PFIを活用し、民間企業等のノウハウや技術を活用すると言っていますが、どのようなスケジュールで、どのような協議体で進めていくつもりなのか。

答

総務企画課長

1つ目、行政財産として民間活力を導入。2つ目、普通財産として賃貸または譲渡。3つ目、避難所としての活用（施設すべては考えにくい）。どのような協議体で進めるかについて、現段階では具体的なことはまだ決めていない。

問

町長として、令和7年度は何か検討をしたのか。また、関係部に指示を出されたのか。また令和8年度に関して、町の職員に対して、視察研修、他の自治体等の意見交換等も含めて、検討する予定はあるのか。

答

町長

どこかに出て行って他のところを見てくるということも指示はしていない。住民の方々のいろんなお話しも聞いており、そのあたりを踏まえて考えたい。

問

国土交通省の総合政策局、社会資本整備政策課が担当している民間提案型、官民連携モデリング事業について。これは地方公共団体が抱える課題「ニーズ」を、民間事業者から提案された新たな官民連携手法「シーズ」により解決することを目指す取り組み。限られた財源である以上、できる限り国の事業を活用することは必至だと考えている。是非とも攻めの久米南町を見せてもらいたいと考え

答

町長

いろいろなご提言をありがとうございます。町長はどう考えるか。

ただ朽ち果てていくだけにするのではなく、思い出の詰まった3小学校だけに、すべてとは言わないが、いずれかの小学校が活用されれば、地域の活力につながると思う。方針を示されたのであれば、準備段階とはいえ、特別チームを編成する等、官民連携モデリング事業にも、チャレンジしていただきたい。何もしなければ、ただ維持管理の予算を毎年計上するだけだ。町長が先頭に立って取り組んでいただけたらと思う。

ステージで みんなとうたう

たのしいな 杉山 美結

わらべうた いろいろあつて

たのしいな ー 片山翔二郎

人材育成の指針と次世代を育てる 職場環境の構築



南 直樹 議員

当町役場における人材育成と魅力ある職場づくりについて問う

問 人材育成の基本的考え方、能力向上に向けた具体的な取り組みは。また研修成果の共有による業務改善や能力向上に繋がっているか。

答 総務企画課長
チャレンジ精神、コスト感覚、スピード感覚、サイバー感覚を持つ職員、4つの

通じて意識改革を図り、管理職の人事評価に重視するものとして意識の徹底を進めることが必要であると考えます。

問 時間外勤務の実態、職場環境の改善、ハラスメント防止、メンタルヘルス対策などへの取り組み、デジタル技術の活用について伺いたい。

答 総務企画課長
職員1人での対応、問題を抱えないような職場環境が必要と考える。現在、ワンフロアで業務をおこない、より良い影響があると考えている。

デジタル技術の活用により、業務改善を図られることも期待でき、正しい活用に向けた情報や知識の習得を行い、本町の規模にあった仕組みを引き続き検討していきたい。

問 人材育成方針の明文化、育成計画の策定等の取り組みについての検討、若手職員の意見を町政に反映する仕組み作り、管理職マネジメント研修の充実や組織向上への取り組みなど、今後どの

ように強化していくのか伺いたい。

答 総務企画課長
管理職員は、課の基本的な処理方針の決定、業務の進行管理、業務の割り振りなど指揮監督が適切にできなければならぬと考える。

職員の意見や要望を理解しておくことが必要であり、課内でのコミュニケーションが重要と考える。管理職のマネジメント強化は、引き続き向上に向け職場内でも考える場を設けていきたい。

答 町長
人材育成は非常に大切である。新庁舎になり1階に集約することにより、顔が見えないままそれぞれの課が動くことがなくなった。風通しの良い職場づくりに努めていきたい。

社協の訪問介護事業廃止に伴う 町の対応策を問う



議員 廣政 幹夫

社協の訪問介護事業廃止に 町はどう対応する

問 令和8年度以降、社協の訪問介護事業廃止に町はどう対応するか。現在、社協訪問介護の利用者の移行は、どうなっているか。

答 保健福祉課長
令和8年度以降、現在町では社会適応が困難な高齢者に対し、日常生活に関する支援や家事に対する支援など

を行う生活管理指導員派遣事業を社会福祉協議会に委託し実施しており、今後はこの事業に取り組むよう社協とも協議していく。利用者の移行手続きは、現在、すべての方の受け入れ先が決まり、新しい事業所からサービス提供を受けていると伺っている。

問 いま働いている方、12月議会まで町長が言われた、当事者2人の処遇は協議をして決めると言われていた。

答 町長
現在、社協の訪問介護事業所の職員体制は、5名で、うち1人は、法人運営部門との兼務。非常勤職員2名は1年契約で、契約満了となる。あと2名は、事業所都合による退職ということになる。

問 これまでも介護人材の養成は困難と聞いているが、行き先（就職先）が決まっていないうちにいるのならその人材を活かす考えは。

もう1点は、社協が訪問介護事業をやめる、そうしたら町内の事業所か、近辺の事業所か、どちらかが引き受けるだろうと思うが、いざいしても訪問介護事業の経営は非常に厳しく、中山間地の訪問介護事業は、どんどん廃業している状況だ。そこで、岡山県が令和8年度から新規事業で中山間の特別地域訪問介護サービス支援事業3034万円の予算を組んだと聞いているが、その事業の説明を。

答 町長
行き先は今の時点で承知していない。

問 まだ行き先が決まっていないうちであれば、ヘルパーとして働いていた貴重な人材を、例えば他の事業所へ斡旋するなど、できるのではないか。

答 町長
そこは、一応ご紹介はしている。紹介は1回行っている。

答 副町長
中山間に特化して、県がその支援をするということであれば、また詳細な説明があるので、町として民間事業者に対する支援がどのようにできるか、できる限りのことはやりたい。

久米南町が、この事業のうち中山間地に該当するのは間違いではない。その地域の訪問介護、デイサービスの事業者にも、少しでも支援をするために補助制度を作っており、そこに県が支援をするということだ。市町村が取り組むなら手伝いましょう、という事業なので、町も是非、年度中途からでもやってもらいたい。

おながくは みんながたのしい

おとづくり 宗高 僚汰

住みやすい久米南町になるために



河原 重義 議員

個別避難計画を作成している。

問

緊急時に即座に対応できるようにしておくことが重要である。有事の際の自主防災組織や消防、警察などへの連絡などの訓練を常日頃から行っておくことも重要だ。自主防災組織でも訓練はできているか。

答

総務企画課長
それぞれの活動について、町への報告は求めているが、地域で考え活動されている。

問

行政としてしっかりと指導をお願いしたい。避難、防災計画の見直しは進んでいるか。避難場所、ハザードマップの見直しは進んでいるか。

答

総務企画課長
近年の災害の教訓も生かして見直すよう現在着手している。

問

道路や河川の防災についてはどうなっているか。

答

建設水道課長
いづみ川と誕生寺川の合流地点の浚渫等を予定している。

問

災害備蓄品のうち、災害時用簡易トイレの蓄品はできているか。

答

総務企画課長
簡易トイレは505回分、携帯トイレは600回分を備蓄している。また、マンホールトイレも庁舎北側に2基準備している。

ICT教育機材の今後の更新及び故障時の対応について

問

小中学校におけるICT教育は、ギガスクール構想に基づき進めていると思うが、タブレット端末等の更新はできているか。

答

教育課長
当初導入してから5、6年経過しており、経年劣化も進んでいる。更新は、計画的に進めており、今年度は中学校の更新を行

った。次年度は、小学校についても更新する予定だ。

各小学校にある遊具について

問

現在、小学校の校庭にある遊具、今後どうしていくのか。放置したままにするのか。跡地問題とも重なるが、方針を訊く。

答

教育課長
廃校後の施設利用を踏まえ総合的に判断する。新小学校の遊具の整備も決定している。

問

教育長の所見は。

答

教育長
タブレット以外の機器についても、計画的に導入していく。遊具の取り扱いについては、跡地利用の関係もあり、現時点での意見は持ち合わせていない。

子どもらを健やかに育ていくためにも、平等な教育の場が提供されることをお願いしておく。

緊急災害時における本町の対策及び計画について

問

緊急災害時における町の対応で、障がい者や高齢者の方々の避難行動に対する個別避難計画の作成はできているか。

答

保健福祉課長
高齢者、認知症、引きこもり等の世帯を把握するため、毎年、在宅福祉基礎資料調査を実施しており、この際に自力での避難が難しい方の調査を行い、希望者ではあ

新統合小学校、中山間支援等 地域課題に対応した施策を



近藤 賢司 議員



動画

新統合小学校について

問 非常災害時の児童・生徒のお迎えルートの検討は具体化されたか。

答 教育課長 今現在検討しているところであり、まだお答えする段階には至っていない。

問 保護者のお迎えルートは一方通行にすべきではない。北側から入って南側に抜

けることが最良と考える。見直しを持ってご検討いただきたい。

問 小学校の統廃合は、行政が提案し決定された。従って、児童の新制服については、行政が責任を持って予算化を行い、入学者全員に支給すべきではないか。

答 教育課長 現在使用していただいている3小学校の制服を新小学校においても使用する方向で準備を進めており、制服の入学者全員支給は考えていない。

答 町長 子育て支援で、入学時、小学校が3万、中学校が5万、卒業時に7万円補助している。保護者の方は是非ご活用いただきたい。

農業支援について

問 前回の議会で伺った「新規就農者向け住宅」建設要望について、検討はされたか。

答 産業振興課長 新規就農者、移住希望者が、どのような場所に、どのような住環境を求められているかなど見極めながら、引き続き検討したい。

問 中山間の担い手の高齢化、若者の町外流出により、農地や町道、県道の草刈り作業が困難になりつつある。改善策の一つとして、農作業や町道等の草刈りの受託作業を行う公社を立ち上げて支援することで、成果を上げている自治体もある。こうした検討も必要ではないか。

答 産業振興課長 高齢化や人口減少などにより、作業ができる方が減少し、これまでの活動に苦慮されていることは承知している。主要な幹線道路で危険な

作業となる箇所については、業者委託を含め、引き続き検討したい。公社の件は、その内容を把握していないので、研究してまいりたい。

本町に近い吉備中央町では、吉備中央農業公社を一般財団法人として令和6年に立ち上げている。出資金8710万円で、その出資は吉備中央町、岡山農業協同組合、商工会、備北森林組合、旧賀茂川せんたろう公社等の団体である。こうした法人が本町にも求められているのではないかと。是非とも、本町の課題として今後前向きな検討をお願いしたい。



みんなだね 歌を歌うと

ハッピーに 坂下真莉奈

活力ある町づくりへ 若者の参画と交流支援の強化



小坂 守議員

第6次後期振興計画について

問 次期後期振興計画作成のためアンケート調査が実施されているとのことだが、作成スケジュールと今までの審議委員のメンバー構成をみると各種団体の代表の方が選任されていると思う。今回は特に若い世代、子育て世代の方などメンバーに加えていただくよう要望する。

答 総務企画課長
第6次久米南町振興

計画の、来年度が中間点ということで、必要な見直しを行い、令和9年度からの後期計画とするよう決定している。

町内合計1000名の皆様にアンケート調査を行った。アンケート調査の結果であるとか、現在の計画をふまえて、職員で素案を作成したうえで審議会に諮るなど、意見をいただき来年3月までに示したいと考えている。

町づくり審議会条例に定める審議会があり、委員は10名以内と定められている。できるだけ多くの層から集めるよう努力する。

人口減少について

問 先日の新聞に岡山県知事の講演が掲載されていた。内容は、夫婦の平均の子供

数を示す「完結出生児数（全国）」というのがあるが、これが2021年は1.90と、約50年前と大きく変わっていない。少子化は結婚しない人が増えているためであり、結婚する人を増やせば解決の糸口が見えてくる。そのため、出会いの場の創出、マッチング事業を展開する民間企業のノウハウも活用し、ブラッシュアップを図ると講演されていた。本町に於いても少子化問題については、色々な対策を実施されているが、その中のひとつに、同窓会支援がある。本町に於いて若い人の集いと言えば、二十歳の集いくらいと思う。若い人の出会いの場には同窓会が一番良いと思う。そのため、若い人たちの同窓会の開催支援、例えば、金額、回数などをもう少し拡充し、同窓会の支援の内容も広報紙などに掲載されているが、あらゆる機会を捉えてPRしていただきたい。若い人の集いが増えれば出会いの場も増え、良い結果に結びつくのではないかと思う。是非、同窓会の支援拡充をお願いしたい。

答 産業振興課長

同窓会支援事業については、若者世代の交流促進及び若年層の関係人口の創出、又結婚への意識を高めていただけよう、令和6年度から若者枠を拡充し現在実施している。若者交流については、補助要件を緩和し、使いやすいものになっている。



組織・防災・インフラの課題を問う



光元 一郎 議員

職員について

問

①職員の年齢別構成人数について。②有給休暇は消化できているか。③今年の採用はどうなっているか。

年齢構成がいびつで54歳までが24人となると1年に平均5人が退職することになり、5人を採用しなければならぬ。今の定員は余剰になるかもしれないが、早めに計画増員をしないと49歳までの17人、54歳までの24人が退職するときには職員が不足することが予想

される。

有給消化については20日のうち11日と考えればまずまずといったところだが、持ち越しで40日あると考えれば消化率は悪いのではないかと。またたくさん使う方と、そうでない方がいると思うが、調査をし、公平に安心して消化できるように配慮すべきではないか。

定年についても早期に延長をすべきだし、役職定年も引き上げるべきと考える。日本で定年制が始まったのは明治時代で55歳が始まりだった。その時の平均寿命は53歳で、今の定年61歳に対し平均寿命は80歳を超えており、定年と平均寿命の差が大きすぎると考える。

答

総務企画課長

年齢別構成は24歳までが5人、29歳までが4人、34歳までが8人、39歳までが7人、44歳までが8人、49歳までが17人、54歳までが24人、59歳までが3人、60歳以上が6人となっている。有給

消防について

問

の取得は令和5年度11・53日、令和6年度で11・8日となっている。令和8年年度の採用は2人となっている。

操法の県大会が水出し操

法となっており、練習は美咲町に行っていると聞いた。施設の設定が必要ではないか。消防団員がいけない、もしくは昼間はいない自治会が増えている。OB等を対象として予備団員制度を作ったかどうか。私は畔焼きをするときに100メートルのホースに洗濯用のノズルをつけて行っているが、消防の65ミリの20メートルホースをつないで行うよりはるかに早く初期消火ができるし、片付けも簡単である。林野火災の半分程度はこの装備で対応できると考える。

答

総務企画課長

施設については消防団からも要望があるが、待遇改善や資器材の整備を優先している。予備団員については活用している自治体の状況や消防団の意向を聞き検討する。

運動公園について

問

体育館の雨漏り箇所が増えており、修理が必要では。小中学校のプールの授業が減っており、水難事故を防ぐためにも子どもたちに水に慣れてもらうようプールを再利用したらどうか。

答

教育課長

雨の降り方により体育館の雨漏りが発生しているが場所は増えていない。

プールは循環設備の異常と利用者の減少により中止したが、近年の異常気象により使用できない期間も増えており再開の機会を逃している。

公共工事について

問

災害が起きた時に頼りにするのは町内の建設業者。建設業者の体力を維持するために公共工事の活発化を願う。

答

建設水道課長

地元建設業者の受注機会の拡大に努めたい。

議会の構成決まる

令和8年4月14日～令和12年4月13日

議長 河原 重義
副議長 政廣 幹夫

議会広報編集委員会

委員長 立石 祐一
副委員長 近藤 賢司
委員 石井 一広
森崎 文一

総務文教常任委員会

委員長 近藤 賢司
副委員長 森崎 文一
委員 南 直樹
政廣 幹夫
河原 重義

厚生産業常任委員会

委員長 立石 祐一
副委員長 中力 早苗
委員 石井 一広
政廣 幹夫
河原 重義

議会運営委員会

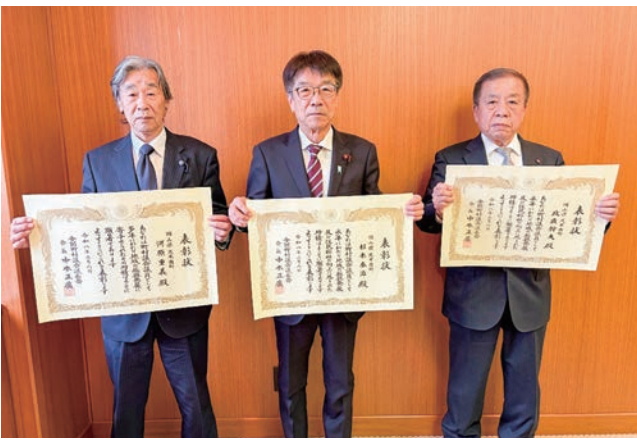
委員長 南 直樹
副委員長 立石 祐一
委員 石井 一広
森崎 文一
中力 早苗
近藤 賢司
政廣 幹夫
河原 重義

一部事務組合組合議員等

- 岡山市久米南町 国民健康保険病院組合
森崎 文一 立石 祐一
- 近藤 賢司 政廣 幹夫
- 河原 重義
- 旭川中部衛生施設組合
石井 一広 近藤 賢司
- 岡山市久米南町衛生施設組合
石井 一広 中力 早苗
- 南 直樹
- 久米老人ホーム組合
中力 早苗 立石 祐一
- 津山圏域消防組合
森崎 文一
- 津山広域事務組合
河原 重義
- 岡山県広域水道企業団運営協議会委員
河原 重義
- 久米南町消防委員
石井 一広 森崎 文一
- 中力 早苗 近藤 賢司
- 議会選出監査委員
立石 祐一
- 岡山県北森林・林業活性化促進議員連盟
政廣 幹夫

全国町村議会議長会表彰等を受賞

2月16日に開催された岡山県町村議会議長会第77回定期総会において、全国町村議会議長会表彰の伝達が行われ、杉本前議長と政廣副議長が議会議員として27年以上の功績のあった者として表彰を受けました。また、議会議員として15年以上の功績のあった者として、河原議長が全国町村議会議長会表彰及び岡山県町村議会議長会表彰を受賞しました。



編集後記

今回の議会だよりは、改選後初めての発行となります。新たな議員構成のもと、住民の皆さまの信任を受け、一層責任の重さを実感しながら議会活動がスタートしました。人口減少や、農業・商工業の後継者の課題など、本町を取り巻く環境は厳しさを増しております。だからこそ現場の声に真摯に耳を傾け、議論を尽くし、将来に向けた持続可能なまちづくりに取り組んでいかなくてはならないと痛感しています。

議会だよりは、議会の活動や議論の内容を分かりやすくお伝えする大切な役割を担っています。今後も読みやすく、身近に感じていただける紙面づくりに努めてまいりますので、ご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

新たな体制となった久米南町議会を、引き続きよろしく
お願い申し上げます。
(立石 祐一)

議会広報編集委員会

委員長 立石 祐一
副委員長 近藤 賢司
委員 石井 一広
森崎 文一

久米南町議会だより 第93号

(令和8年5月15日発行)

【編集】議会広報編集委員会 【発行】岡山県久米南町議会
岡山県久米郡久米南町下弓削502-1 ☎086-728-2112